

## ごあいさつ



私たちは、病院理念として「断らない医療を実践し、みなさまの健康と尊厳をお守りします」を掲げ、24時間・365日いつでも高度急性期医療が行える病院機能の充実を図ってきました。そこで、この理念をより深化させるため、日帰り手術センターを核とした西棟の建設計画を推進し、この度、無事竣工を迎えることが出来ました。

この日帰り手術センターでは、軽症の外科手術、カテーテルを使った心臓病の検査や治療等、これまで短期間の入院で行っていたものを日帰りで行うことで、入院病棟に新たな空床を確保することが可能となり、重症患者や救急患者の受入機能を高めることができます。

他にも、この西棟には病院機能を向上させる役割を持たせています。PET-CTの新設やリニアックの更新、連続血管撮影装置の更新と増設、内視鏡室の拡充を行い、診断・治療能力の向上を図るとともに、当院の職員のみならず広く学生および地域の医師・看護師等にも開放した研修室と種々のシミュレーション装置を備えた教育室もつくりました。更に、屋上には南海トラフ巨大地震に備え、地域住民の方々がいつでも避難階段を使い利用できる一時避難スペースを設けました。

また、今後は、既存建物においても救急外来（ER）のスペース拡大、処置・観察ベッドの増設といった改修工事を来年初夏まで引き続き実施してまいります。

これらのことにより、高度急性期医療を更に充実させることができ、回復期・慢性期医療との継ぎ目のない連携が可能になると思います。また、若い医療従事者の育成にも寄与でき、徳島県の医療の発展に貢献できると信じます。私たちは、これからも断らない医療を実践しつつ、地域住民の方の健康と尊厳を守る医療に全力を尽くしたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

2017年11月19日

徳島赤十字病院 院長 日浅 芳一



## 病院概要

所在地	徳島県小松島市小松島町字井利ノ口 103 番
名称	徳島赤十字病院
病床数	一般 405 床
診療科	総合診療科、血液科、代謝・内分泌科、精神科、神経内科、呼吸器内科、呼吸器外科、消化器内科、消化器外科、循環器内科、小児科、整形外科、形成外科、脳神経外科、血管内治療科、心臓血管外科、小児外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、病理診断科、麻酔科
特殊機能	地域医療支援病院、高度救命救急センター、小児救急医療拠点病院、地域災害医療センター、臓器提供施設、臨床研修病院、地域がん診療連携拠点病院、地域周産期母子医療センター、へき地医療拠点病院

## 主な医療設備

PET-CT
ADCT (320 列)
MDCT (64 列)
MRI (3.0T・1.5T)
アンギオ (パイプライン) 5 台
放射線治療装置 (リニアック)
治療計画用 CT (4 列)
デジタルガンマカメラ
SPECT (専用装置)
X 線テレビ装置
人工透析装置 (36 台)
血管内超音波画像診断装置
心腔内超音波画像診断装置
超音波白内障手術装置
化学療法室 (9 床) ※既存棟改修後 20 床
ER 処置室 (5 床)
小腸内視鏡システム
内視鏡検査室 (6 室)
透視用内視鏡 (2 室)
超音波手術装置
下肢静脈治療用半導体レーザー装置
高周波手術装置
3D 腹腔鏡手術システム
手術室 11 室 (ハイブリッド 1 室、BCR1 室を含む)
ICU 13 床
救命救急病床 21 床
無菌病床 17 床 (個室×7、2 床室×1、4 床室×2)
LDR 1 床
一般病床 353 床 (個室×221、2 床室×66)
電子カルテ



## 工事概要

工期	平成 28 年 3 月 1 日～平成 29 年 9 月 29 日 (西棟竣工)	規模	建築面積：3,124.90 m <sup>2</sup> 延床面積：13,014.29 m <sup>2</sup>
設計・監理 施工	株式会社 日建設 大林・森川特定建設工事共同企業体	構造	鉄骨造 地上 5 階

## 建物配置図

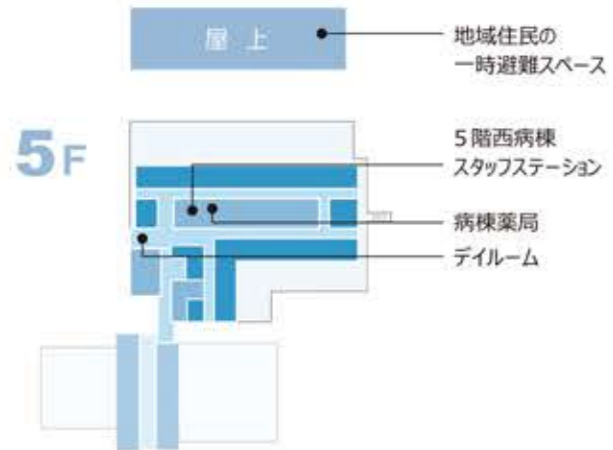


## 断面イメージ図

		病院棟	ヘルポート	西棟	附属棟
		自動販売機コーナー/屋上庭園			
		病棟/無菌病室/病棟薬局			
		病棟/病棟薬局		(2017年11月27日診療開始)	
		病棟/病棟薬局		地域住民の一時避難スペース	
		病棟/分娩室/新生児室/病棟薬局		病棟/病棟薬局	
		医局/管理部門/会議室/厨房		研修医医局/スキルスラボ 会議室/スタッフルンジ 地域住民の一時避難スペース	
		救命救急センター/ICU/手術室		日帰り手術センター 内視鏡センター アンギオセンター	
		入院総合案内/救急受付/放射線科/検査室 入院サポートセンター ※化学療法室		PET・シンチ部門 事務室/受付 健康管理センター リハビリテーション室	
		CAPD/人工透析室/薬剤部 ※退院調整室/医療・がん相談支援センター/医療社会事業課		放射線治療部門【リニアック】 感染外来/リネン・洗濯室	
防災エネルギーセンター	外來棟	救命救急センター	ヘルポート		
機械室	外來診療室 山之内歯科	エントランス ホール			
	外來診療室 外來総合案内 事務室				
	店舗/レストラン キャッシュコーナー (阿波銀行、徳島銀行、555さん)				
浄化槽	調剤薬局/ローソン				

※病院棟 2 階の化学療法室および 1 階の退院調整室、医療・がん相談支援センター、医療社会事業課の改修工事は 2018 年 1 月末頃終了予定。





スタッフステーション



病室 (特別室)



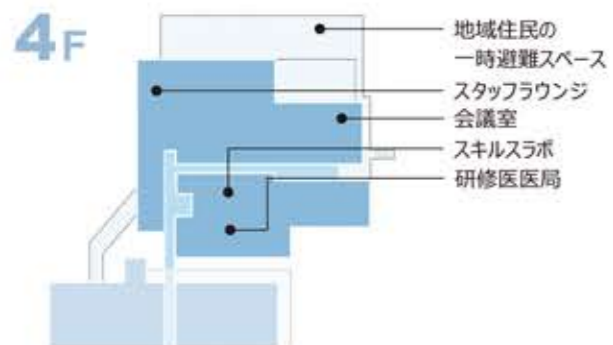
病室 (個室)



デイルーム



地域住民の一時避難スペース(屋上 640人収容)



スキルスラボ



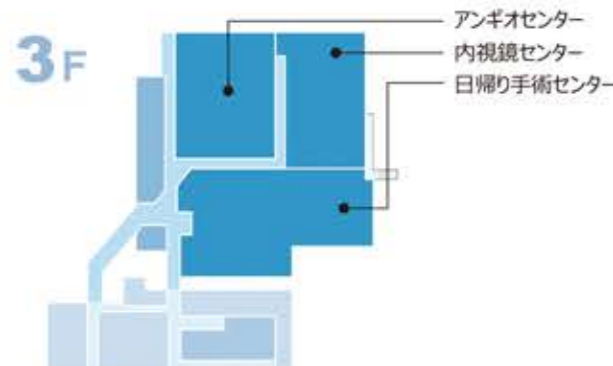
会議室



スタッフラウンジ



地域住民の一時避難スペース(360人収容)



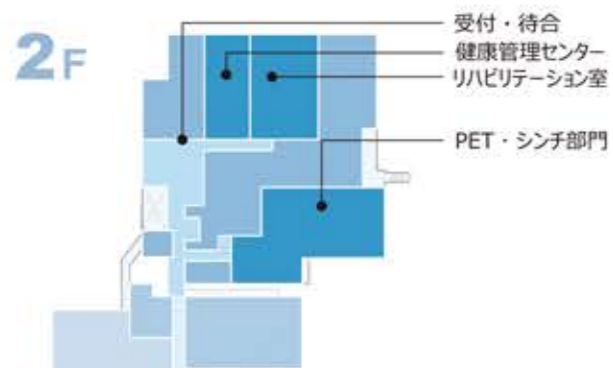
日帰り手術センター



内視鏡センター



アンギオセンター



PET-CT



SPECT



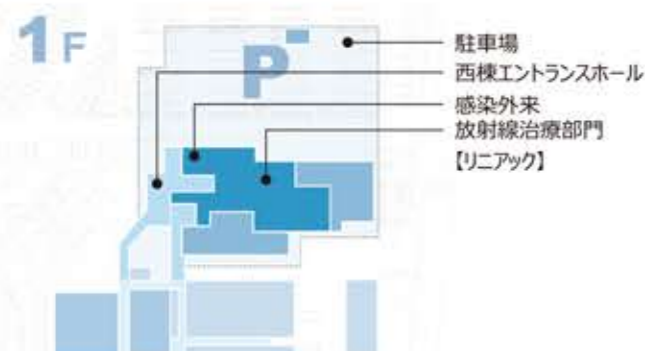
受付・待合



健康管理センター



リハビリテーション室



リニアック



感染外来



西棟エントランスホール



駐車場







## 増改築事業の特色と目的

<p>日帰り手術・特殊検査部門の拡充</p>	<p>これまで入院で実施していた心臓カテーテル検査の一部や大腸内視鏡による処置等を外来で安全に実施できるよう「日帰り手術センター」を新設しました。また、内視鏡部門とアンギオ部門の拡充・集約を図りました。術前術後の回復ベッドも38床新設し、スペースと術後管理の両面において効率化を実現しています。</p>
<p>がんの診断・治療機能の強化</p>	<p>当院はがん診療連携拠点病院の指定を受けており、我が国の死因のトップにあるがんの診断・治療機能の向上は、当院にとって極めて重要な課題です。 がんの検査に有益な放射線機器として認知されるPETの最新機器を導入しました。また、胃や大腸等の内視鏡検査室を2倍に拡張して検査能力を強化します。更に、がんの治療機能としては、がんの放射線治療装置であるリニアックを最新機器に更新しました。あわせて、抗がん剤による化学療法を外来で行う治療室も2倍に拡張します。</p>
<p>高額医療機器の更新による診断治療機能の強化</p>	<p>現在4台の血管撮影装置が稼働していますが、8年を経過した3台を最新機器に更新し、更に1台を追加して5台体制にします。このことにより、当院が得意とする心臓や脳、肝臓等の血管系疾患の診断治療機能が更に強化されます。</p>
<p>個室の増加</p>	<p>個人のプライバシーが尊重される社会環境の中、患者さまの個室希望は非常に強く、既存の個室数では患者さまの要望に応じ切れない状況にありました。そこで、今回の増築により個室を68室増加(病床数405床は変更しません)させ、個室数率を62%まで高めることにしました。療養環境が大幅に改善されます。</p>
<p>教育研修機能の充実・強化</p>	<p>急性期医療の提供を将来にわたって確保するには優秀な医療技術者の育成が不可欠です。医師を始めとした若い医療技術者の育成のため、今回の増築棟には、シミュレーター等を用いて救急処置や外科的処置等のトレーニングが行える「スキルスラボ」という専用の研修室を新設しました。この設備は院外にも開放し地域の若手医療スタッフのレベルアップに努めたいと思っています。</p>
<p>その他</p>	<p>健診部門は西棟に移し、PET健診等の新たなメニューを盛り込んで充実させます。 また、発災が危惧される南海トラフ巨大地震等の津波対策として、西棟の屋上を地域住民の皆様の一時的避難場所として利用していただけるよう、屋外の避難階段を設置しています。発災時この階段は、地域住民の皆様のご判断で休日や夜間でも利用できる機能としておりますので、皆様の安全安心に貢献できるものと思っています。 また、当院の医療機能の提供を支えるスタッフのための施設として、会議室や休憩室、更衣室等の施設も充実させています。</p>